

7月26日

金と原油の急落で待ち伏せる銘柄

金と原油価格が急落しています。

みなさん、金歯入れるのとガソリン入れるのはいまのうち！

先週は、原油価格の代表的指標 WTI が 48 台に。去年夏頃は 100 ドルしていたのに、今年に入って、3 月には一度 45 ドル割れまで急落。その後一度持ち直すも、また 60 ドルから 48 ドルへと下げました。

原因は、とにかく構造的な供給過多と中国経済の減速。

金価格もここ 1 週間で大荒れ。年初 1300 ドル程度だった NY 先物は、先週 1100 ドルを割れるところまで下落です。

こちら中国経済の減速が最大の理由。 ですが、変な噂もあり。

なにしろ、中国政府は、上海株式市場の暴落を食い止めるため、「売り方」に対する監視を徹底して強化しました。「売るなよ！」ってことです。さすが共産圏の株式市場ですね。

しかし、中国大手ファンドは、上海市場の下落をただ見ているだけでは、黙って損失が膨らむのを我慢するだけ。これでは持たない、ということで、上海市場と連動性が高い銅や金の市場で、彼らは空売りをして儲けているのではないかと・・・と。

しかも・・・それをサポートするため、中国政府は、わざと 6 年ぶりに自国の金保有高を公表（予想の半分しか持っていなかったのに、金価格は急落）し、経済減速のニュースを出しているのではないかと邪推？が飛び交っています。

ともかく、原油は WTI で 45 ドル、金は NY 先物で 1000 ドルが節目。

ここを割ってくれば、大きく買戻しがくるだろう、と予測する人も多くいます。

そんなときのために、株式市場でも、2銘柄を紹介します。

住友金属鉱山 (5713)

古くから金価格と連動する株です（最近ではニッケルの生産のほうに熱心ですが）が、ボックス圏の動きをとりやすいので、底値近いですかね。

国際石油開発帝石 (1605)

政府もその種類株を保有する、石油生産大手。原油価格が安定すれば、反発でしょうね

